

人間関係が味にでる

近藤 朗

新年

明けまして

おめでと〜ございます

旧年中は、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

今年も今年も。今年も、初めに頑張っている後半によいことが起こる年のような気がします。先を見通して、今やるべきことに一生懸命に取り組む、大きな実りを期待したいと思います。

まずは二月二十三日のミュージカル発表会。全校児童が胸躍らせて思いを表現し、学びを深めるとともに達成感、自己有用感を高められるよう、職員一同精一杯努めてまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様からのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

文部科学省では、一月二十四日から三十日までの一週間を全国学校給食週間としています。この時期に合わせて各学校で給食週間を設定し、食べることに、食事を留意してくれる人、材料を生産してくれる人などについて考え、振り返る機会としています。新潟小学校では、一月二十九日から二月二日までを給食週間とし、様々な企画を行っ

ています。

「人間関係が味にでる」

これはたんぼぼランチを日々提供してくれている調理員さんたちが胸を張って語る言葉です。たんぼぼランチがおいしいわけはこの言葉にあるのです。調理員さんたちの「和」がおかずの隅々にまで行き渡り、調和し、この上もない味を生み出しているのだと思います。先日の大雪の日も、食材の配達に心配される中、チームワークよく対応してくださいました。給食という作品をとおして子どもたちを育んでくれている栄養教諭、調理員の皆さんに改めて感謝です。

授業をはじめとした学校生活や家庭生活でもこの「人間関係が味にでる」という言葉は大切なものです。学び合う仲間どうし、教職員と子どもたち、兄弟姉妹、親と子など、多様な人間関係の中で子どもたちは生きています。楽しい授業も、楽しい学校生活も、楽しい家庭生活も、楽しい社会生活も、全てが人間関係によってその豊かさが決まります。

調理員さんたちの言葉は人生の大切な指針と言えます。新潟小学校の内外的人間関係が学校の味にでるよう、皆様と共に活動を進められたら幸せです。